

## 国内自転車生産・輸出入状況（平成26年1～3月）

### 1. 我が国の自転車生産

経済産業省生産動態統計調査によると、平成26年1～3月の我が国の完成自転車生産台数は278,336台、完成自転車生産金額は133億9,000万円であった。これらを前年同期と比較すると、生産台数は5.1%増、金額は15.7%増となっている。また平成26年1～3月の完成自転車生産平均単価は48,107円となっており、前年同期の43,709円から10.1%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成26年1～3月の我が国自転車生産

	総台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成26年1～3月	278,336	13,390	48,107
平成25年1～3月	264,751	11,572	43,709
変化	13,585	1,818	4,398
変化%	5.1%	15.7%	10.1%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

平成26年1～3月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「電動アシスト車」が大きく増加していることがわかる。

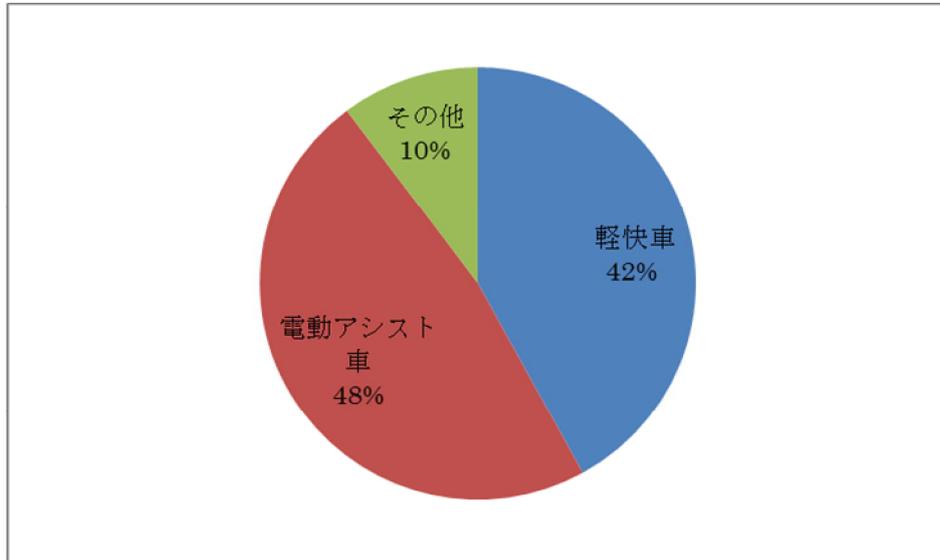
表2 車種別生産状況 平成26年1～3月と平成25年1～3月との比較

1～3月	平成26年		平成25年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	116,929	2,766	118,317	2,820	-1,388	-1.2	-54	-1.9
電動アシスト車	132,842	9,763	116,175	7,976	16,667	14.3	1,787	22.4
その他	28,565	862	30,259	777	-1,694	-5.6	85	10.9
計	278,336	13,390	264,751	11,572	13,585	5.1	1,818	15.7

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

表2を基に平成26年1～3月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が48%を占め、次いで「軽快車」が42%を占めている。

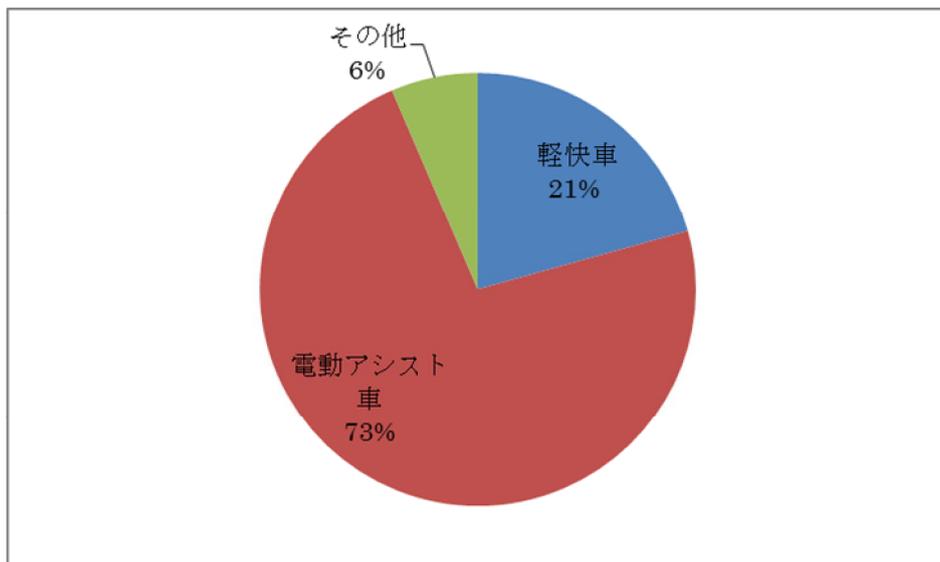
図A 平成26年1～3月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成26年1～3月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が73%を占めている。

図B 平成26年1～3月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成26年1～3月と平成25年1～3月とを比較した表3を示す。「軽快車」の平均単価は僅かに下落したが、「電動アシスト車」及び「その他」の平均単価は上昇しており、これらの結果全体の平均単価は10.1%上昇している。

表3 車種別生産平均単価 平成26年1～3月と平成25年1～3月との比較

車種	平成26年1～3月 平均単価(円)	平成25年1～3月 平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	23,655	23,834	-179	-0.8
電動アシスト車	73,493	68,655	4,838	7.0
その他	30,177	25,678	4,498	17.5
計	48,107	43,709	4,398	10.1

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。生産台数・金額とも増加が続いており、平均単価も上昇している。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成26年と平成25年との比較

	平成26年			平成25年			平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価(円)	生産台数(台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	
1月	39,834	2,930	73,555	33,738	2,476	73,389	166
2月	42,915	3,124	72,795	39,834	2,436	61,154	11,641
3月	50,093	3,709	74,042	42,603	3,064	71,920	2,122
1～3月	132,842	9,763	73,493	116,175	7,976	68,655	4,838

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

## 2. 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成26年1～3月における、「生産」、「受入」、「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
平成26年1～3月と平成25年1～3月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			3月末在庫 (台)
	台数	金額 (百万円)		販売		その他(台)	
				台数	金額 (百万円)		
平26.1～3 軽快車	116,929	2,766	308,102	341,111	5,699	132,567	74,096
平25.1～3 軽快車	118,317	2,820	327,988	354,819	6,289	135,617	99,727
変化 %	-1.2	-1.9	-6.1	-3.9	-9.4	-2.2	-25.7
平26.1～3 電動アシスト車	132,842	9,763	93,859	143,910	10,053	93,441	14,374
平25.1～3 電動アシスト車	116,175	7,976	80,211	111,431	7,638	78,362	27,566
変化 %	14.3	22.4	17.0	29.1	31.6	19.2	-47.9
平26.1～3 その他	28,565	862	99,138	95,564	1,956	34,156	39,972
平25.1～3 その他	30,259	777	109,983	99,034	1,744	28,490	77,468
変化 %	-5.6	10.9	-9.9	-3.5	12.2	19.9	-48.4
平26.1～3 全車種計	278,336	13,390	501,099	580,585	17,708	260,164	128,442
平25.1～3 全車種計	264,751	11,572	518,182	565,284	15,672	242,469	204,761
変化 %	5.1	15.7	-3.3	2.7	13.0	7.3	-37.3

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

「受入」台数についてみると、平成26年1～3月の全車種の「受入」台数は平成25年1～3月の「受入」台数に比べ3.3%減少した。車種別には、「軽快車」が6.1%減少したほか、幅広い車種を含んでいる「その他」も9.9%減少した。一方「電動アシスト車」の「受入」台数は17.0%増加した。「受入」台数の多くは自転車生産企業が輸入した自転車台数と推測される。「生産」台数と比較し「受入」台数はかなり多くなっている。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成26年1～3月の全ての車種の「出荷・販売」台数は平成25年1～3月のそれに比べ2.7%増加した。車種別にみると、「軽快車」が3.9%、「その他」が3.5%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は29.1%と大きく増加した。「出荷・販売」金額については、全車種では13%増加し、車種別では「軽快車」が9.4%減少した一方で、「電動アシスト車」が31.6%、「その他」も12.2%増加した。

平成26年1～3月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成25年1～3月のそれに比べ7.3%増加した。車種別にみると、「軽快車」が2.2%減少した一方で、「電動アシスト車」及び「その他」は各々19%ほど増加した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成26年3月の全車種の「月末在庫」台数は128,442台で、前年同月の204,761台から37.3%と大きく減少している。車種別には全ての車種で減少を示している。

表6に平成18年から平成26年まで過去9年間の毎年1～3月の我が国の自転車生産、出荷及び3月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～3月の自転車生産・出荷及び3月末在庫の過去9年間の推移

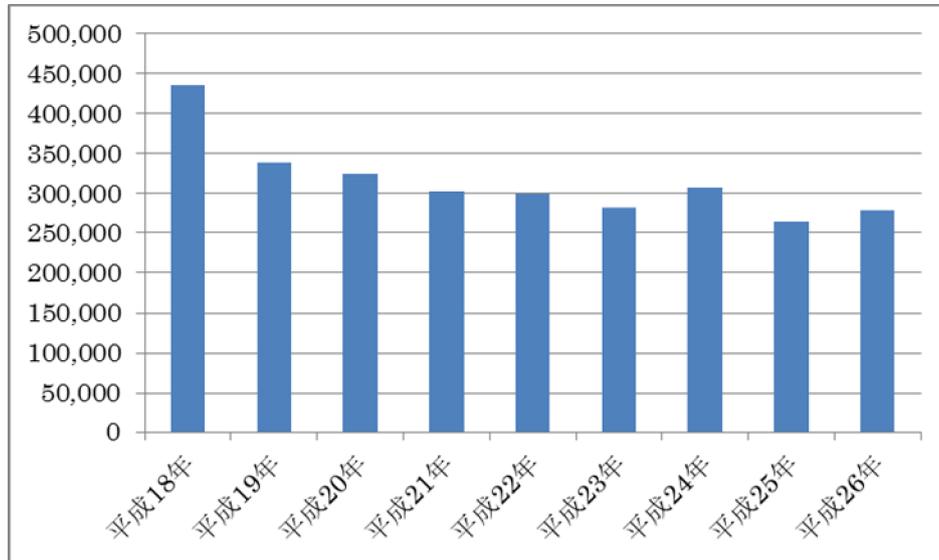
1～3月	生産			出荷			3月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成26年	278,336	13,390	48,107	580,585	17,708	30,500	128,442
平成25年	264,751	11,572	43,709	565,284	15,672	27,724	204,761
平成24年	308,426	12,688	41,138	812,892	18,480	22,734	213,991
平成23年	283,461	11,344	40,020	890,844	19,097	21,437	143,353
平成22年	299,871	10,344	34,495	857,346	17,167	20,023	197,543
平成21年	302,897	9,138	30,169	887,807	16,529	18,618	201,479
平成20年	324,543	7,697	23,716	1,016,304	15,574	15,324	215,025
平成19年	338,671	7,117	21,014	1,069,225	14,114	13,200	214,321
平成18年	435,978	8,134	18,657	1,188,506	14,653	12,329	238,679

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、  
分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～3月の「生産台数」は前年同期に比べ若干増加しており、「生産金額」は過去9年間で最高を記録している。これらのことから「生産平均単価」も過去9年間で最高である。また平成26年1～3月の「出荷台数」は過去9年間で2番目に少なく、「出荷金額」は過去9年間で3番目に多くなった。これらのことから、「出荷平均単価」も過去9年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が9年間一貫して高くなっている。「3月末在庫台数」は128,442台で、過去9年間で最低である。

表6を基に平成18年から平成26年までの過去9年間の毎年1～3月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にあることが示されている。

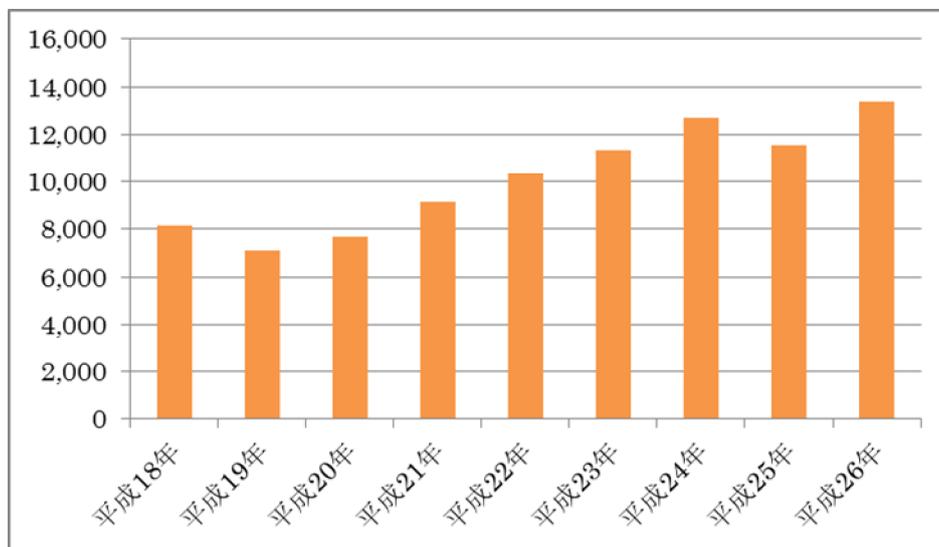
図 C 1～3月の我が国自転車生産台数の過去9年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成26年までの過去9年間の毎年1～3月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額は増加傾向にあることがわかる。

図 D 1～3月の我が国自転車生産金額の過去9年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

表7は平成26年1～3月の全ての車種の自転車の我が国への輸入の様相について前年同期と比較しながら示したものである。総台数は10.7%増加し、総CIF金額は21.3%増加した。これらの結果、平均CIF単価は9.6%上昇した。

表7 平成26年1～3月の我が国の自転車輸入 平成25年1～3月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成26年1～3月	2,626,492	28,474,262	10,841
平成25年1～3月	2,373,370	23,483,404	9,895
変化	253,122	4,990,858	947
変化%	10.7	21.3	9.6

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

表8は平成26年1～3月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表8 平成26年1～3月 我が国の車種別自転車輸入

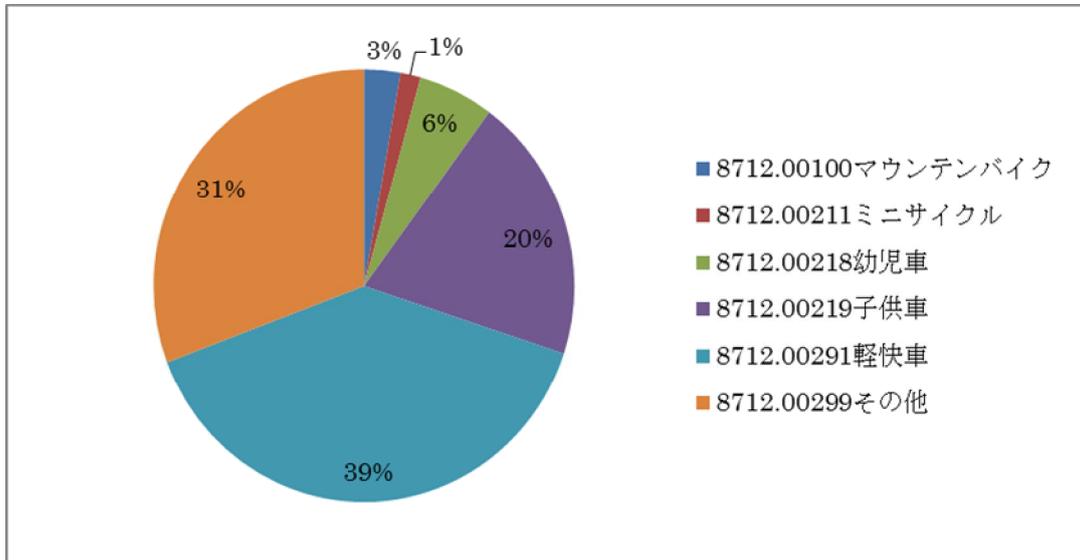
関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	73,179	1,357,313	18,548
8712.00211 ミニサイクル	40,807	469,823	11,513
8712.00218 幼児車	152,613	1,179,293	7,727
8712.00219 子供車	522,810	4,667,237	8,927
8712.00291 軽快車	1,029,951	10,124,346	9,830
8712.00299 その他	807,132	10,676,250	13,227
計	2,626,492	28,474,262	10,841

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が18,548円と最も高くなっている。8712.00211に分類される「ミニサイクル」の台数は40,807台と6つの輸入車種区分の中では最低であるが、平均CIF単価は11,513円と3番目に高くなっている。高価な小径車がこの区分の中に含まれているものと思われる。また8712.00291に分類される「軽快車」は最も台数が多く、平均CIF単価は9,830円となっている。更に8712.00299に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、総CIF金額は6つの輸入車種区分の中で最も多くなっており、平均CIF単価は13,227円である。

表8を基に、平成26年1～3月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Eである。「軽快車」が39%を占め、次いで「その他」が31%を占めている。

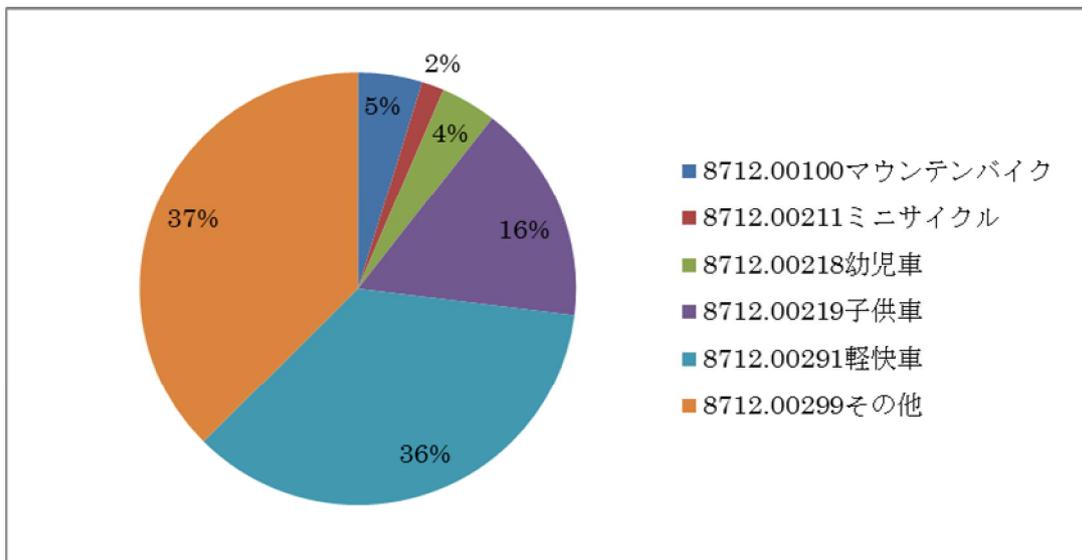
図 E 平成 26 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 8 を基に、平成 26 年 1～3 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 F である。「その他」が 37%、「軽快車」が 36%と大きな割合を占め、これら二つで 73%と圧倒的となっている。

図 F 平成 26 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、輸入における関税番号及び車種は以下の通り分類されている。

表9 輸入における車種区分 関税番号

品名区分／関税番号	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

表10は平成26年1～3月の車種別の我が国への自転車輸入について去年同期と比較しながら示したものである。

表10 我が国の車種別自転車輸入 平成26年1～3月と平成25年1～3月との比較

1～3月 車種	平成26年		平成25年		変化%	
	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額
8712.00100 マウンテンバイク	73,179	1,357,313	57,955	1,193,839	26.3%	13.7%
8712.00211 ミニサイクル	40,807	469,823	18,262	259,645	123.5%	80.9%
8712.00218 幼児車	152,613	1,179,293	131,559	780,652	16.0%	51.1%
8712.00219 子供車	522,810	4,667,237	474,305	3,837,641	10.2%	21.6%
8712.00291 軽快車	1,029,951	10,124,346	982,149	8,947,299	4.9%	13.2%
8712.00299 その他	807,132	10,676,250	709,140	8,464,328	13.8%	26.1%
計	2,626,492	28,474,262	2,373,370	23,483,404	10.7%	21.3%
平均単価(円)		10,841		9,895		9.6%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

全ての車種で台数及び金額が増加している。

表 1 1 は毎年 1～3 月の我が国への自転車輸入の過去 14 年間の推移を示したものである。

表 1 1 毎年 1～3 月の我が国の自転車輸入の過去 14 年間の推移 全車種

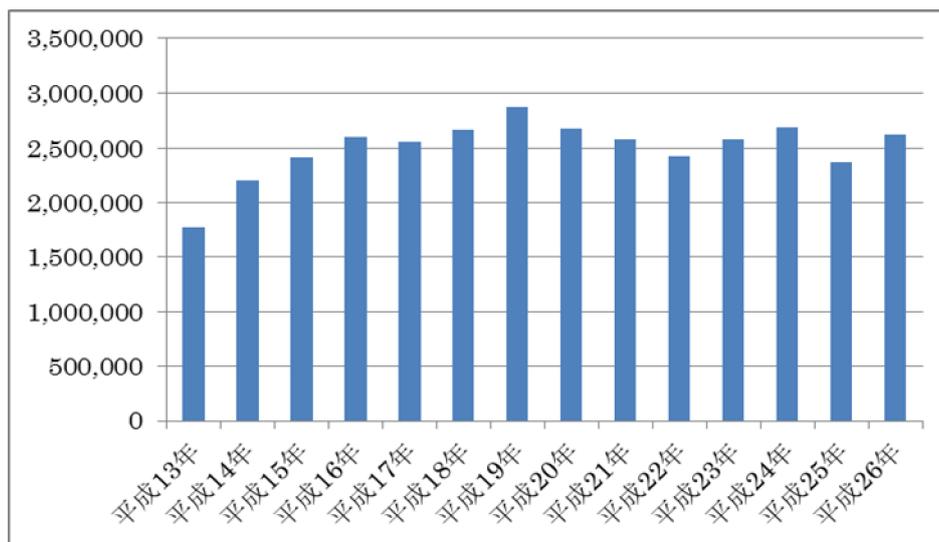
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 26 年	2,626,492	28,474,262	10,841
平成 25 年	2,373,370	23,483,404	9,895
平成 24 年	2,695,555	22,695,025	8,419
平成 23 年	2,580,156	20,269,931	7,856
平成 22 年	2,428,569	19,462,552	8,014
平成 21 年	2,576,224	22,705,053	8,813
平成 20 年	2,684,045	22,666,563	8,445
平成 19 年	2,877,065	23,273,025	8,089
平成 18 年	2,670,732	19,943,370	7,467
平成 17 年	2,563,991	16,336,547	6,372
平成 16 年	2,603,967	15,845,606	6,085
平成 15 年	2,414,612	16,396,236	6,790
平成 14 年	2,196,940	16,621,325	7,566
平成 13 年	1,767,054	13,782,947	7,800

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 26 年 1～3 月の総輸入台数は前年同期に比較すると大きく増加したものの、過去 14 年間の推移の中では平均的な水準となっている。一方、1～3 月の総 CIF 金額は過去 14 年間で最高である。これらの事から平均 CIF 単価は 10,841 円となり、これまでの最高であった前年同期の 9,895 円を 1,000 円近く上回り、過去 14 年間で最高となっている。

表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～3 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 G である。

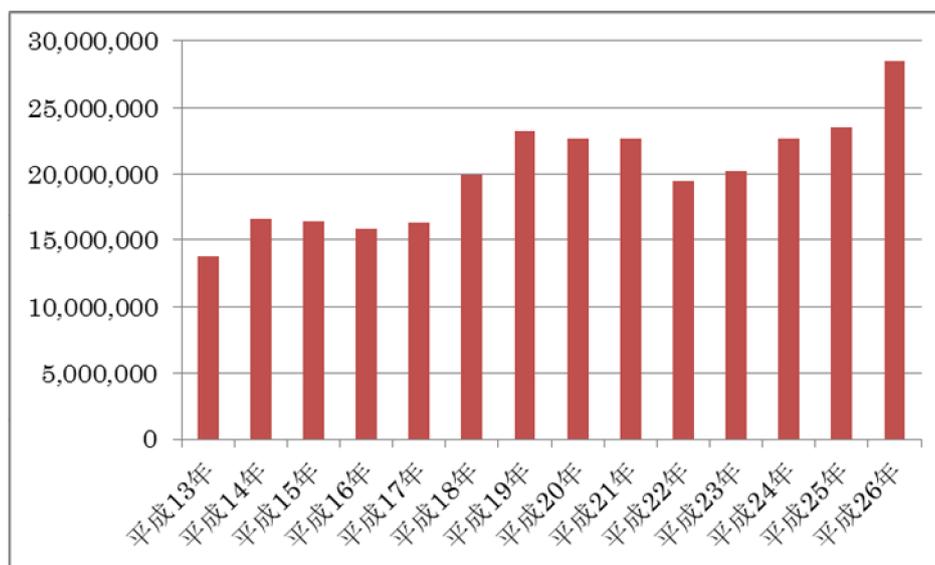
図 G 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総台数の過去 14 年間の推移(単位：台)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～3 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 H ある。

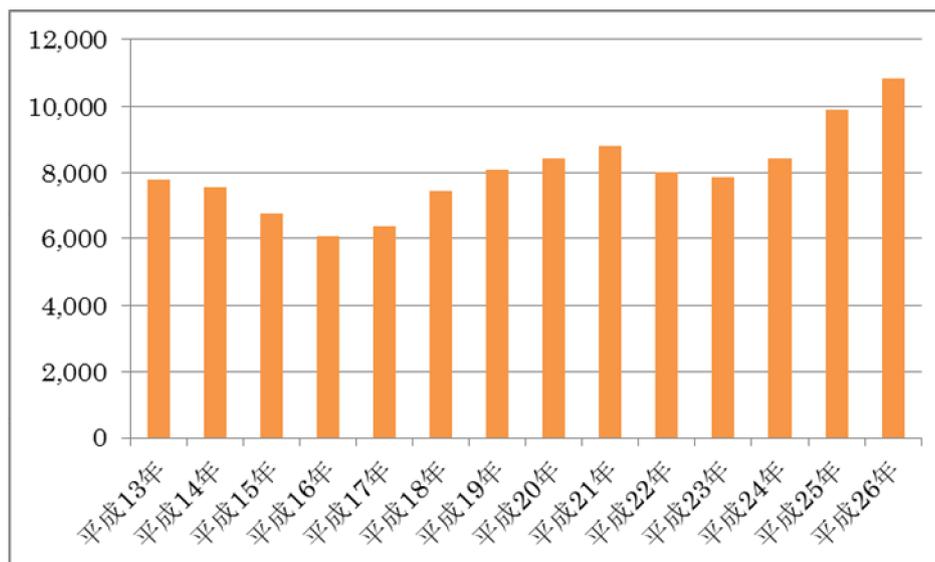
図 H 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 14 年間の推移(単位：千円)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～3 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 I ある。

図 I 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 14 年間の推移(単位：円)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 14 年間の推移を示したものが表 1 2 である。

表 1 2 月毎の総輸入台数の過去 14 年間の推移（単位：台）

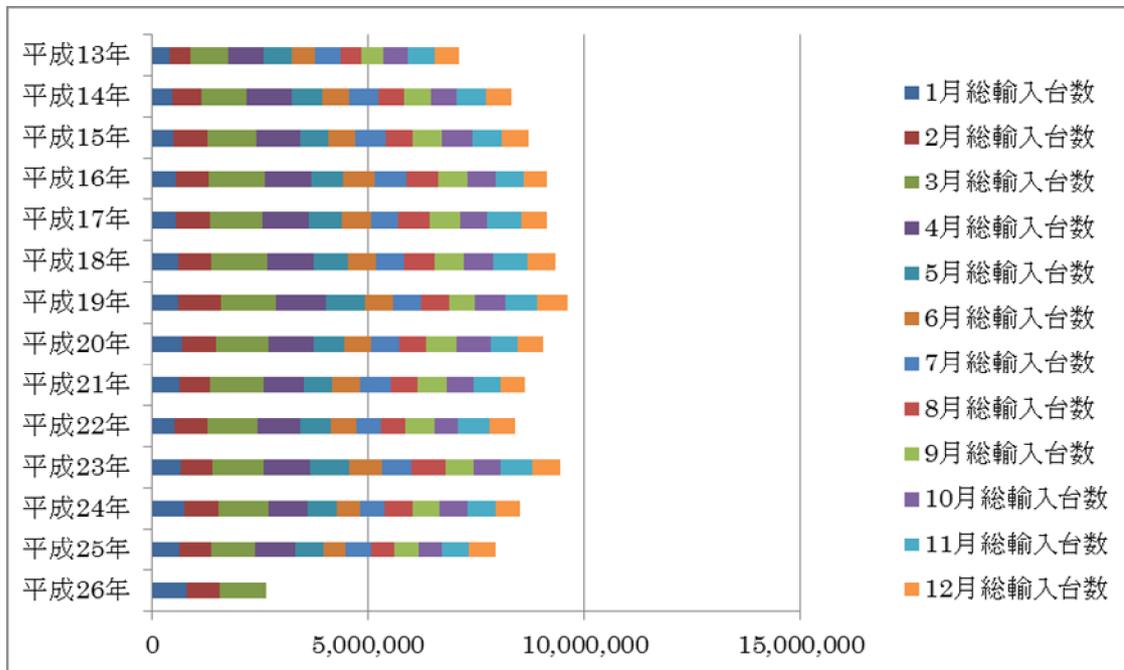
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	—	—	—
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成 14 年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成 13 年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	1～12月総輸入台数
平成 26 年	—	—	—	—	—	—	2,626,492
平成 25 年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成 24 年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成 23 年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成 22 年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成 21 年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成 20 年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成 19 年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成 18 年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成 17 年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成 16 年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成 15 年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成 14 年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成 13 年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 2 の月毎の総輸入台数の過去 14 年間の推移をグラフにより示したものが図 J である。平成 26 年 1～3 月の輸入台数は過去 14 年間の推移の中では比較的多めに推移していることがわかる。

図 J 月毎の総輸入台数の過去 14 年間の推移 (単位 : 台)



出典 : 財務省貿易統計、分析 : 一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 3 は、毎年 1~3 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 14 年間の推移について示したものである。

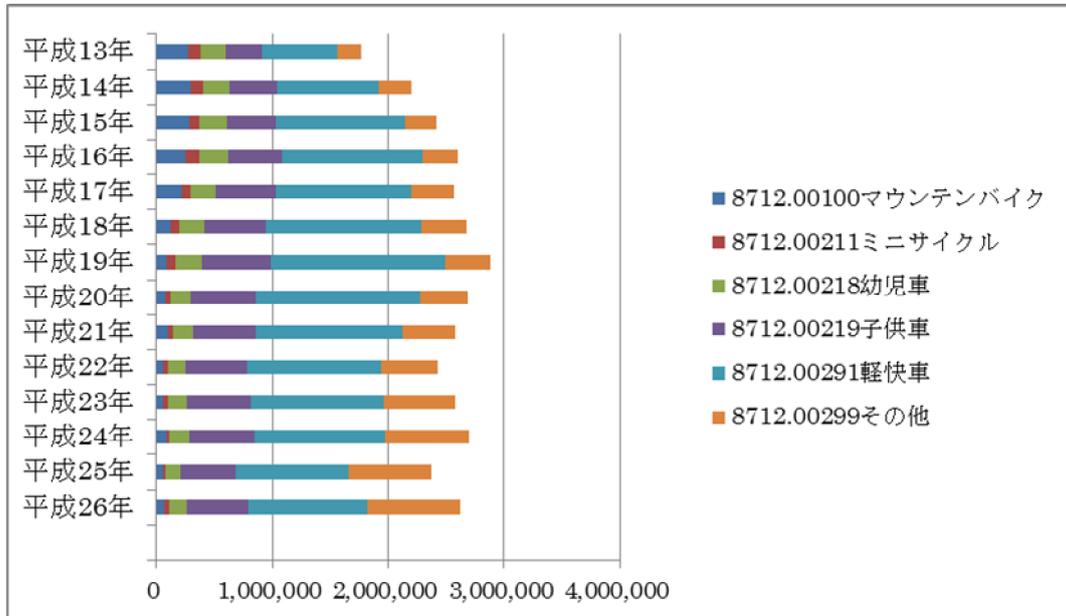
表 1 3 毎年 1~3 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 14 年間の推移 (単位 : 台)

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 26 年	73,179	40,807	152,613	522,810	1,029,951	807,132	2,626,492
平成 25 年	57,955	18,262	131,559	474,305	982,149	709,140	2,373,370
平成 24 年	87,062	24,657	171,652	565,515	1,119,749	726,920	2,695,555
平成 23 年	63,603	33,548	164,291	551,849	1,150,866	615,999	2,580,156
平成 22 年	59,489	38,452	156,636	530,318	1,160,841	482,833	2,428,569
平成 21 年	97,986	50,097	165,108	551,110	1,258,515	453,408	2,576,224
平成 20 年	78,379	47,352	167,448	563,993	1,416,437	410,436	2,684,045
平成 19 年	88,125	75,520	231,083	591,808	1,503,365	387,164	2,877,065
平成 18 年	121,249	75,377	215,316	537,198	1,334,396	387,196	2,670,732
平成 17 年	219,677	72,011	219,366	518,450	1,166,989	367,498	2,563,991
平成 16 年	257,211	120,358	247,804	464,691	1,202,050	311,853	2,603,967
平成 15 年	288,655	86,808	235,896	419,564	1,113,661	270,028	2,414,612
平成 14 年	301,408	100,435	235,384	405,757	876,882	277,074	2,196,940
平成 13 年	269,870	108,893	221,267	315,333	641,858	209,833	1,767,054

出典 : 財務省貿易統計、分析 : 一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～3月は各車種とも前年同期に比べ増加しており、特に「その他」は80万台を超え、過去14年間で最高となっている。この模様をグラフで示すと図Kのようになる。

図K 毎年1～3月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去14年間の推移  
(単位：台)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～3月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表14である。

表14 平成26年1～3月 我が国の完成自転車輸入 主要供給元

供給元	総台数	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	2,554,231	25,227,985	9,877
台湾	66,151	2,783,356	42,076
その他	6,110	462,921	75,764
計	2,626,492	28,474,262	10,841

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の97.2%、総CIF金額の88.6%を占めている。平均CIF単価は9,877円であった。これに次ぐのが「台湾」で、台数の2.5%、総CIF金額の9.8%を占め、平均CIF単価は42,076円、「中華人民共和国」産のもの4.3倍である。これら2つの国・地域で総台数の99.8%、総CIF金額の98.4%を占めている。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～3月の「国内向け数

量」の過去9年間の推移を表15に示す。平成26年1～3月の「国内向け数量」は過去9年間の推移の中では標準的な水準である。また国内生産比率は9.6%であり過去9年間で最低となっている。

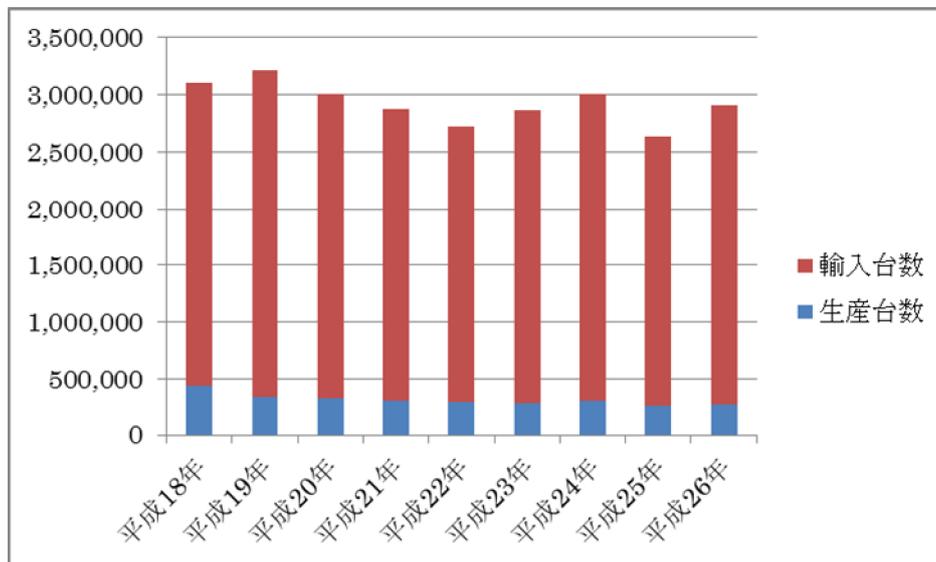
表15 毎年1～3月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去9年間の推移

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成26年	278,336	2,626,492	2,904,828	9.6
平成25年	264,751	2,373,370	2,638,121	10.0
平成24年	308,426	2,695,555	3,003,981	10.3
平成23年	283,461	2,580,156	2,863,617	9.9
平成22年	299,871	2,428,569	2,728,440	11.0
平成21年	302,897	2,576,224	2,879,121	10.5
平成20年	324,543	2,684,045	3,008,588	10.8
平成19年	338,671	2,877,065	3,215,736	10.5
平成18年	435,978	2,670,732	3,106,710	14.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Lである。

図L 毎年1～3月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去9年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆ど全てである。平成26年3月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表16に示す。平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 1 6 平成 26 年 3 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ミャンマー	58,365	76,926	1,318
ガーナ	34,625	48,796	1,409
カンボジア	33,656	43,694	1,298
UAE	29,334	42,027	1,433
タンザニア	23,282	31,051	1,334
ナイジェリア	13,395	20,001	1,493
タイ	12,388	33,141	2,675
アフガニスタン	12,091	14,604	1,208
フィリピン	8,479	13,007	1,534
トルコ	5,244	8,480	1,617
その他	19,108	45,260	2,369
計	249,967	376,987	1,508

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 7 に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は増加傾向にあり平成 26 年 1～3 月は過去 14 年間で最高となっている。更に本年 1～3 月の総 FOB 金額も過去 14 年間で最高となっている。本年 1～3 月の平均 FOB 単価は 1,474 円で、平成 25 年 1～3 月を 175 円上回り、過去 14 年で 3 位となっている。

表 1 7 毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の過去 14 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 26 年	729,651	1,075,151	1,474
平成 25 年	722,752	939,012	1,299
平成 24 年	699,859	901,501	1,288
平成 23 年	557,747	743,842	1,334
平成 22 年	555,117	745,569	1,343
平成 21 年	492,380	673,801	1,368
平成 20 年	554,131	928,910	1,676
平成 19 年	386,012	467,747	1,212
平成 18 年	304,033	323,202	1,063
平成 17 年	224,636	256,521	1,142
平成 16 年	236,936	281,915	1,190
平成 15 年	161,964	213,115	1,316
平成 14 年	152,603	204,930	1,343
平成 13 年	133,335	205,255	1,539

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上